

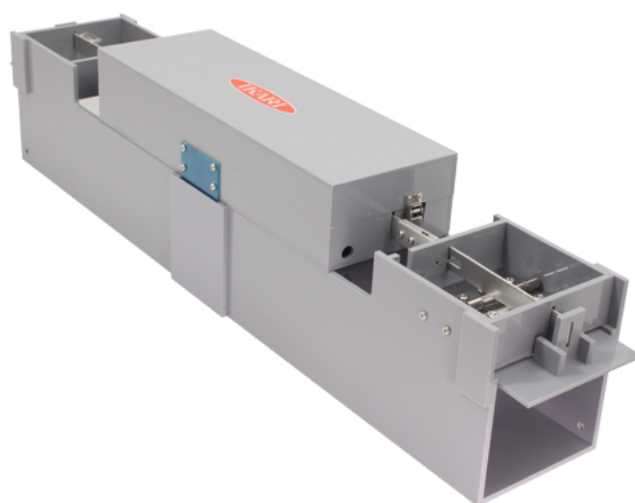
センサ付ネズミ捕獲装置

J-ライン *Light*

J-ラインLight CX／J-ラインLight

取扱説明書

2019年3月 第1版



本製品を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ず本書をお読みください。
本書は、お読みになった後いつでも使用できるように、必ず所定の場所に保管してください。

IKARI

イカリ消毒株式会社

文書管理番号
B-JLL01-0111

はじめに

このたびは、J-ラインLight（以下「本製品」と記載）をご購入・ご契約いただき、ありがとうございます。

本製品をお使いいただく際には、この取扱説明書（以下「本書」と記載）をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はすぐに取り出せる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

著作権

本書の著作権は、当社またはその許諾者が有します。また、お客様は、当該情報を当社の承諾なしに第三者に開示できません。

当社から事前に許可を受けることなく、本書の全部または一部を使用および複製することはできません。また、本書の全部または一部を他の言語に翻訳、書き換えを行うことも禁止されています。

本書の対象読者について

本書は、本製品をご使用になるすべての方を対象に記載しています。ただし、通信試験や電気工事など専門技術を要する作業についての内容は記載しておりませんので、それらの専門技術情報は、しかるべき資格を有する方が、当社から適切な情報を入手の上行ってください。

お願い

本書の内容は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

この製品は、日本国内専用です。

本書の記載には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。

本製品および構成部品などの廃棄方法などは、国または地方自治体が定める行政法令に従ってください。

本製品を貸与または譲渡される場合は、本装置と一緒に本書をお渡しください。

本書の表記方法について

シグナルワードの意味

本書では、記載事項を守らないと人体への危険や物的損傷を招くおそれのある事項に関して、以下のような「警告」や「注意」といったシグナルワードを付けて記載しています。これらのシグナルワードが付いた記載事項は、事前によく読み理解し記載内容を遵守してください。

 警告	「警告」項目は、本製品の運用中に、作業者が死亡または重傷を負う可能性のある場合について記述しています。
 注意	「注意」項目は、本製品の運用中に、作業者が軽傷または中等傷を負う可能性のある場合について記述しています。
注記	「注記」項目は、作業者が負傷するおそれはないが、本製品、設備、機器などに損害や故障を引き起こすことが予想される場合について記述しています。

「重傷」、「中等傷」、「軽傷」の定義

「重傷」	失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が出るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。
「中等傷」	全治1か月未満の入院を必要とし、軽度の後遺症が出るもの。
「軽傷」	治療に入院や長期の通院が必要ないもの。

絵記号の意味



人体に影響のあるリスクを示す記号です。この記号とともに具体的な警告内容が書かれています。



禁止行為を示す記号です。この記号とともに具体的な禁止内容が書かれています。



実行しなければならない行為を示す記号です。この記号とともに具体的な指示内容が書かれています。



「メモ」項目は、運用上、特に知っておかなければならない情報や内容がある場合に記述します。



「参照」項目は、関連する記載事項がある場合に、その参照先を記載します。

使用期間、供給期限について

設計上の標準使用期間について

 警告	 本製品の「設計上の標準使用期間」は、出荷後5年です。「設計上の標準使用期間」を超えて使用すると、経年劣化による発火や漏電などの事故が発生するおそれがあります。
---	---

この「設計上の標準使用期間」は、保証値ではありません。お客様による適切な維持・管理とお手入れを行った場合の標準的な想定期間です。また、ご使用条件（環境など）により記載数値を満足しないことがあります。

「設計上の標準使用期間」を超えた場合は、お手数ですが当社までご連絡ください。

本書の内容は、本製品が「設計上の標準使用期間」を迎えるまで有効とします。

保守部品の供給期限

保守部品の供給期限は、原則として、本製品の製造中止から6年間を目安としております。

ただし、使用部品のうち汎用の電子部品などにつきましては、メーカーの都合により、短いサイクルで製造が終了したり、仕様が変更されたりすることがあります。

当社では、汎用電子部品の製造終了時には、必要な数量を予測して一定数量を確保するよう努力しておりますが、場合によっては、本製品の製造中止後、6年を経過する前に、保守部品の一部の供給を終了させていただくことがあります。

また、市販品の機器および部品につきましては、各メーカー規定の供給期限となります。

保証期間満了後の修理などについてご不明な場合は、当社にお問い合わせください。

もくじ

はじめに	2
著作権	2
本書の対象読者について	2
お願い	2
本書の表記方法について	3
シグナルワードの意味	3
絵記号の意味	3
使用期間、供給期限について	4
設計上の標準使用期間について	4
保守部品の供給期限	4
1 安全にお使いいただくために	7
1.1 運用上の注意	7
2 製品概要	9
2.1 本製品の機能	9
2.1.1 J-ラインLight, J-ラインLight CXの共通機能	9
2.1.2 J-ラインLight CXの機能	9
2.2 J-ラインLight CXのシステム構成概要	10
2.3 仕様	11
2.3.1 製品仕様	11
2.3.2 付属品	12
2.4 各部の名称とはたらき	13
2.4.1 本体	13
2.4.2 制御部	14
2.5 捕獲のしくみ	15
3 設置	16
3.1 設置の前に	16
3.1.1 設置の注意事項	16
3.1.2 開梱と梱包品の確認	17
3.2 電池をセットする	18
4 使用方法	20
4.1 使用開始手順	20
4.2 カバーの使用方法	23

4.3	動作確認の方法	24
4.3.1	テストボタンによる動作確認	24
4.3.2	センサを感知させる動作確認	25
4.3.3	CXステーションのLCD表示部（J-ラインLight CXの場合）	25
4.4	自動テストカウント機能について（J-ラインLight CX）	26
4.5	ネズミ捕獲後の処理	27
4.6	データの送信、Webサイトへの表示について	28
4.7	データ閲覧について	29
5	点検・保守	31
5.1	本体の清掃	31
5.2	電池の交換	32
6	こんなときは	33
7	製品の保管および廃棄	34
7.1	長期間使用しない場合の保管について	34
7.2	製品の廃棄について	34
8	オプション品リスト	35
8.1	消耗品	35
8.2	オプション品	35

1 安全にお使いいただくために

本項には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上でお使いください。

1.1 運用上の注意



警告



- ・本製品を本書に記載されている以外の用途では使用しないでください。製品の破損や故障ばかりでなく、けがや重大な事故が発生するおそれがあります。
- ・指定された電源電圧以外では使用しないでください。製品の破損、発火事故の原因になります。
- ・引火性ガスが発生する場所では、本体を使用しないでください。発火事故などの原因になります。
- ・本製品の分解や改造はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様による分解、改造された製品は、保証の対象外となります。
- ・お客様による修理はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様により修理された製品は、保証の対象外となります。
- ・本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。このような場所でご利用を希望する場合は、当社にご相談ください。
- ・本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電池を抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- ・幼児の手の届くところで使用しないでください。感電やけが、やけどのおそれがあります。
- ・煙が出たり、異臭や異音がした場合は、すぐに電池を抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- ・電池をショート、分解、加熱、充電、火に入れるなどしないでください。液もれ、破裂、発熱のおそれがあります。



- ・本体から取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。
- ・本製品内部に液体や異物が入ってしまった場合は、すぐに電池を抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。

 警告	 ・煙が出たり、異臭や異音がした場合は、すぐに電池を抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
 注意	 ・単3形アルカリ乾電池（LR6）、単1形アルカリ乾電池（LR20）以外の電池を使用しないでください。アルカリ乾電池以外の電池は、電圧が違いため適切に動作しない不具合が生じるおそれがあります。  ・設置場所および設置方法は、必ず「3 設置」に記載している事項に従ってください。 ・電池のプラス（+）、マイナス（-）を間違えないようにセットしてください。電池のプラスマイナスが逆の場合、発熱や故障するおそれがあります。 ・古い電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。液もれを起こすおそれがあります。 ・本体を使わないときは、電池を外してください。 電池を入れたままにしていると、電池の液が漏れて本体やその周辺を傷めたり、人に危害を与える場合があります。 ・動作テストの際などは、侵入口の閉鎖時に指や手をはさまないように注意してください。
注記	 ・汚れた場合は、中性洗剤をしみ込ませた清潔な布で軽く拭いてください。本製品は、防水構造ではありません。 ・温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露するおそれがあります。本製品は周辺温度 0～50 ℃、湿度 80 %RH 以下（結露しないこと）で使用してください。 ・水没するような場所には設置しないでください。故障により、正常に動作しない可能性があります。 ・制御部を捕獲部から取り外す際は、まっすぐ上に引き上げて、センサーをぶつけたり傷つけないよう注意してください。

2 製品概要

2.1 本製品の機能

2.1.1 J-ラインLight, J-ラインLight CXの共通機能

本製品は、ダクト型捕獲部（塩ビ樹脂製）と脱着可能な制御部で構成されています。

捕獲部内に誘引用の餌を配置し、センサが内部に侵入したネズミを感知すると、瞬時に侵入口が閉まり捕獲します。

ネズミが捕獲された後、捕獲部から制御部を取り外し、予備の捕獲部と交換できます。

2.1.2 J-ラインLight CXの機能

J-ラインLight CXは上記の機能に加えて、短距離無線通信Xbeeを利用しCXシステムにより、ネズミの捕獲を知らせる警報メールの受信や捕獲状況を、Webサイトで確認できます。

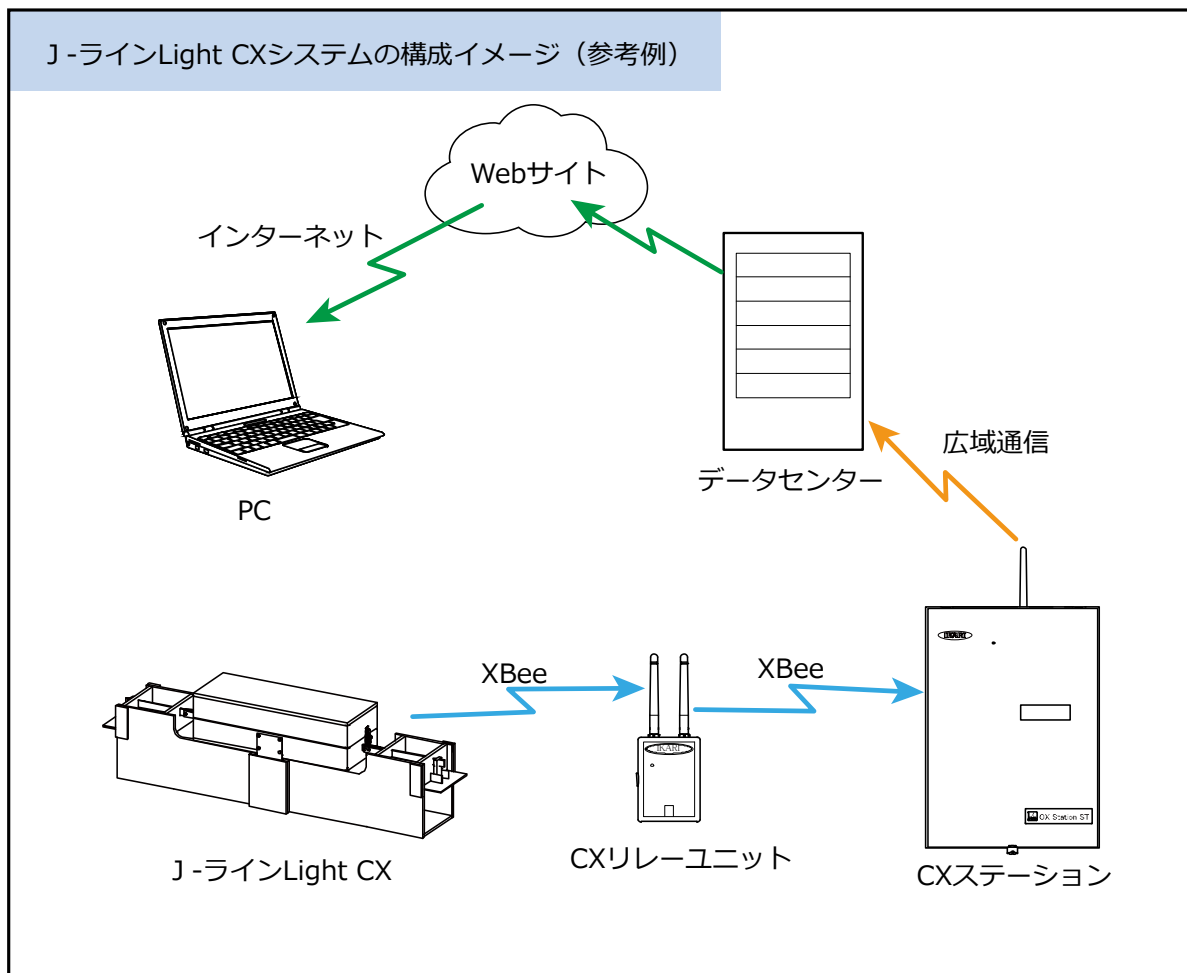
管理者は警報メールを受信することで、ネズミが捕獲されたことを60～90分で知ることができ、迅速な対応が可能になります。



警報メールおよびWebによる確認ができるタイミングは、通信状況により変化します。

2.2 J-ラインLight CXのシステム構成概要

J-ラインLight CXは、CXステーションと短距離無線通信XBeeで通信します。CXステーションからデータセンターへは、広域通信で通信します。



メモ

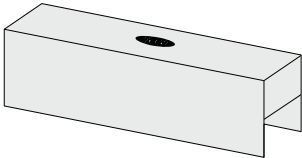
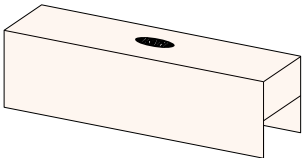
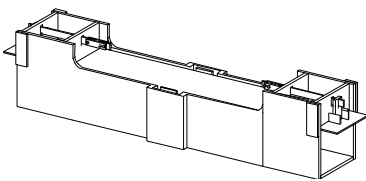
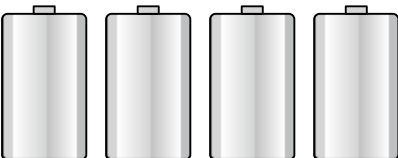
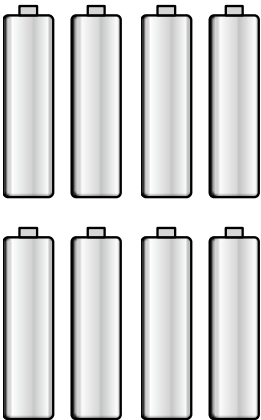
上図は、参考イメージです。お客様の仕様により構成や台数が異なります。

2.3 仕様

2.3.1 製品仕様

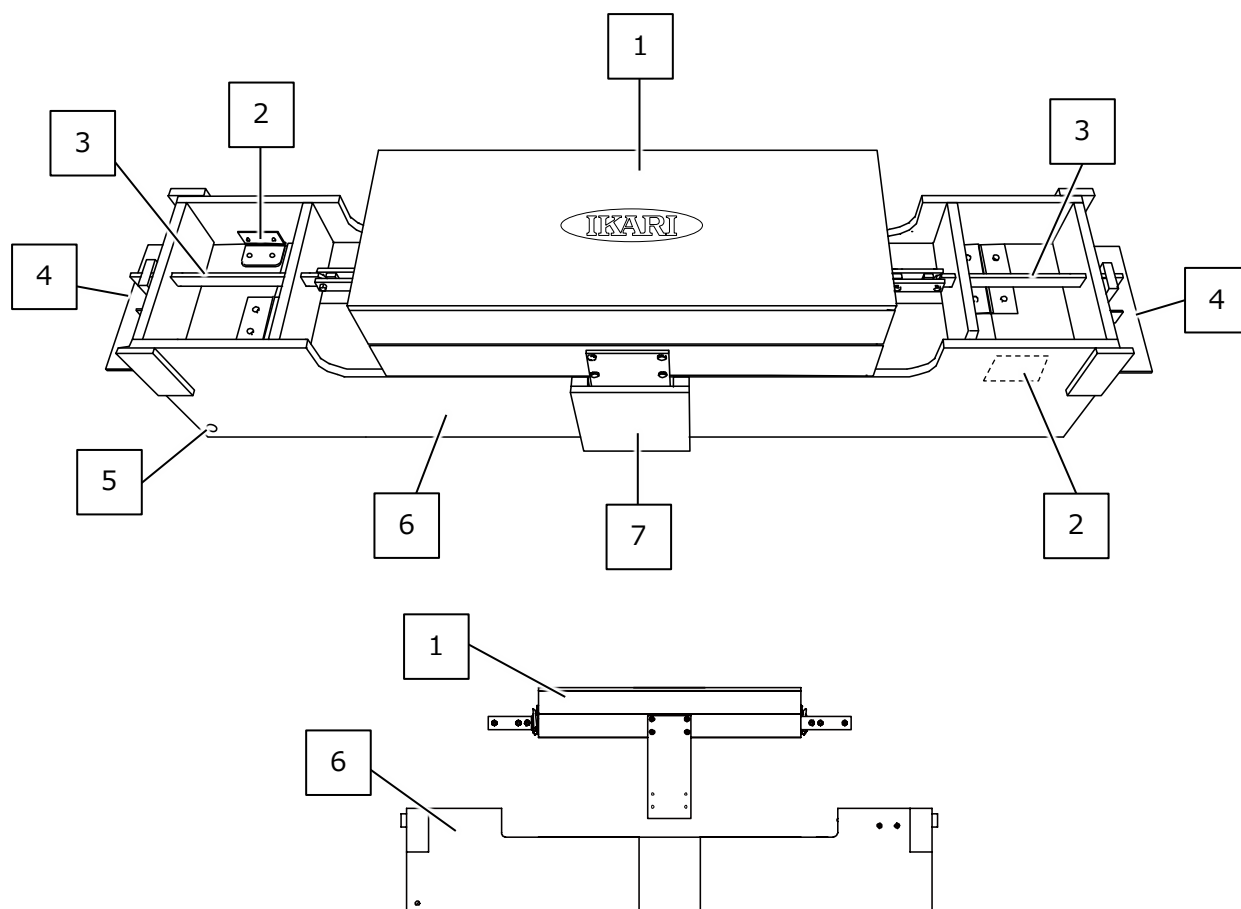
項目	内容
名称	J-ラインLight J-ラインLight CX
寸法（本体）	（幅）600 mm × （高さ）148 mm × （奥行）111 mm ※制御部含む、侵入口を閉じた状態
寸法（カバー）	（幅）655 mm × （高さ）155 mm × （奥行）116 mm
寸法（ペーパーカバー）	（幅）680 mm × （高さ）147 mm × （奥行）123 mm
質量（電池含む）	2.5 kg（電池、カバー含む）
電源	センサ制御用：DC6 V、単1形アルカリ乾電池 4本 侵入口駆動用：DC12 V、単3形アルカリ乾電池 8本
電池寿命	センサ制御用：6か月 侵入口駆動用：2年
センサ	赤外線光電センサ × 2
短距離無線通信 （J-ラインLight CXのみ）	ZigBee準拠（Digi社製XBee モジュール）
使用温度／湿度	0～50 ℃／湿度 80 %RH以下（ただし、結露なきこと）

2.3.2 付属品

名称	外観	説明
J-ラインLight用カバー		素材：塩ビ樹脂
J-ラインLight用ペーパーカバー		素材：段ボール紙
J-ラインLight用捕獲部 (交換用)		素材：塩ビ樹脂
電池（センサ制御用）		単1形アルカリ乾電池 (LR20) 4本
電池（侵入口駆動用）		単3形アルカリ乾電池 (LR6) 8本
取扱説明書	本書	1冊

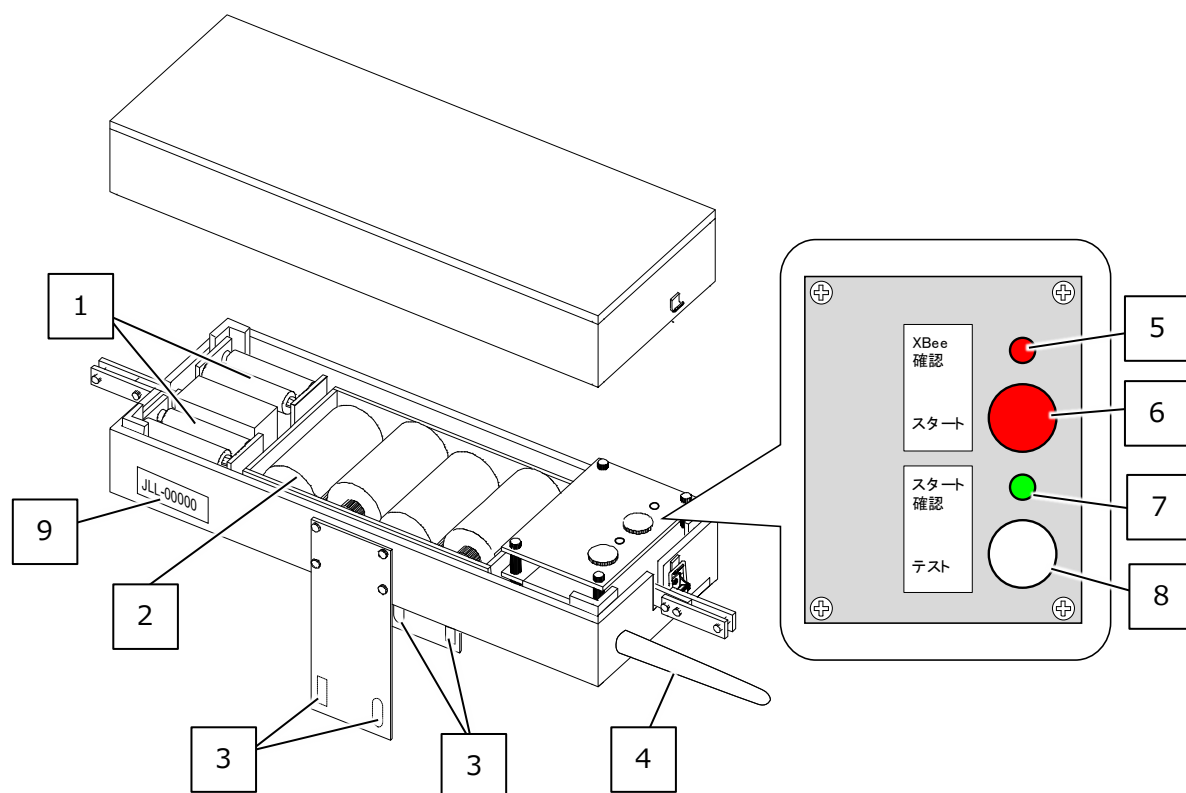
2.4 各部の名称とはたらき

2.4.1 本体



No.	名称	説明
1	制御部	侵入口の開閉機構、および制御用基板が収納されています。また、センサ制御用電池、侵入口駆動用電池をこの中にセットします。J-ラインLight CXの場合、通信基板も収納されています。制御部を手で持ち上げると、捕獲部から取り外すことができます。
2	ストッパー	閉じた侵入口を開かない状態にするための金具です。
3	固定軸	この部品に侵入口の穴を引っ掛けて、開いた状態で固定します。センサがネズミを検知すると、固定軸が外れ、侵入口が閉まります。
4	侵入口	ネズミの侵入部にある開閉扉です。
5	固定用穴	ここにワイヤーなどを取り付け、本体を固定します。
6	捕獲部	ネズミを捕獲し、回収するユニットです。
7	餌置き場（内部）	誘引用の餌を内部に置きます。

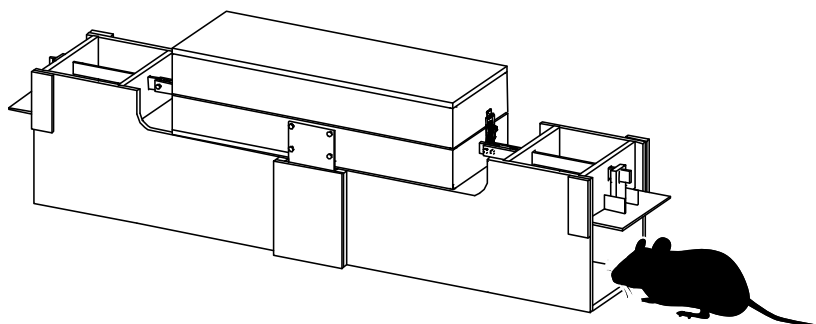
2.4.2 制御部



No.	名称	説明
1	侵入口駆動用電池	単3形アルカリ乾電池 8 本を使用します。 (2年交換)
2	センサ制御用電池	単1形アルカリ乾電池4本を使用します。 (6 か月交換)
3	センサ	捕獲部のネズミを検知します。
4	短距離無線通信アンテナ (J-ラインLight CXのみ)	CXステーションへの送信用のアンテナです。
5	赤色LED	J-ラインLight CXの場合、侵入口が閉じるときに1 回点滅します。
6	スタートボタン	センサ検知を開始します。
7	緑色LED	スタートボタンを押したときに、5回点滅します。
8	テストボタン	このボタンを押すと、強制的に侵入口が閉まり、電 源はOFFになります。
9	識別番号	個体識別用の番号です。

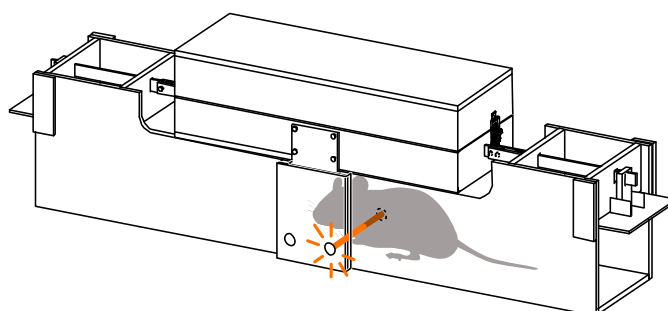
2.5 捕獲のしくみ

1 ネズミが侵入



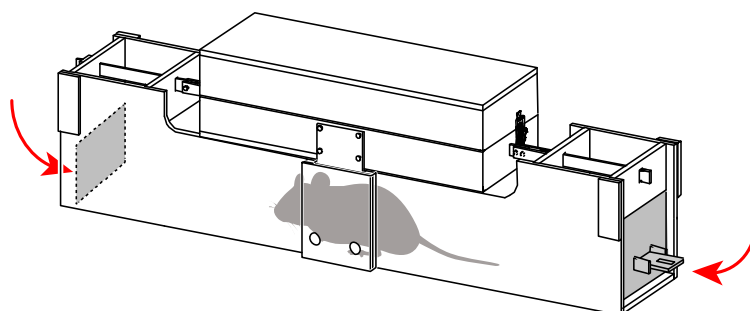
2 センサがネズミを感知

センサの投光部から発射された赤外線が、ネズミなど何らかの物体によってさえぎられたときに検出信号を出します。



3 センサの検出信号により侵入口が閉じる

ストッパーが下りて、侵入口が閉まります。また、電源はOFFになります。



4 (J-ラインLight CXのみ) 侵入口が閉じた「時間と機器番号」をデータセンターに送信

参 照

データ送信およびデータの閲覧は、「4.6 データの送信、Webサイトへの表示について」および「4.7 データ閲覧について」を参照してください。

3 設置

3.1 設置の前に

3.1.1 設置の注意事項

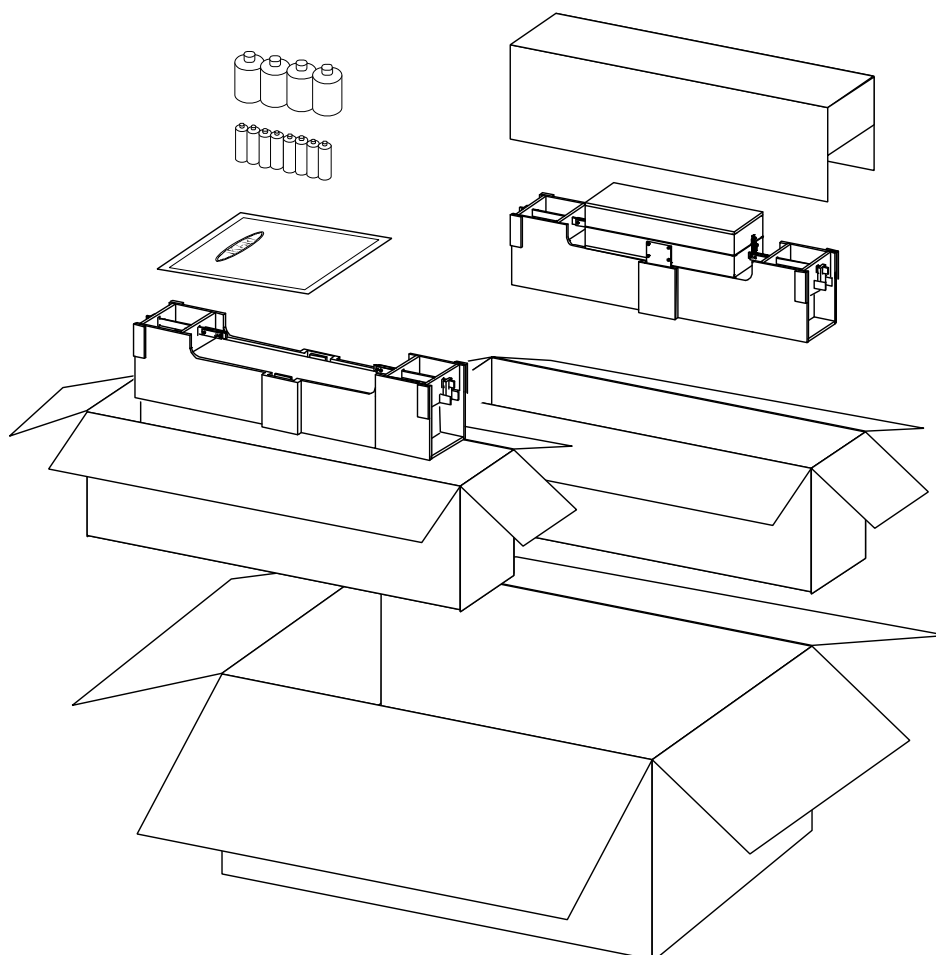
設置に際しては、以下の注意事項を遵守してください。

	次の場所には設置しないでください。感電・火災の原因になったり、製品に悪影響をおよぼすことがあります。 • 直射日光が当たる場所 内部の温度が上がり、火災や故障、変形の原因になります。また、誤カウ ントの原因になります。 • 強い磁界が発生する場所 故障の原因になります。 • 漏水の危険がある場所 故障や感電の原因になります。 • 振動が発生する場所 けが・故障・破壊・接触不良の原因になります。 • ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所での使用 けが・故障・破壊・接触不良の原因になります。 • 火気の周辺、熱気のこもる場所、火煙・ちり・ほこりの多い場所 故障や変形の原因になります。
	 • 温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露するおそれがありま す。本製品は周辺温度 0～50 ℃、湿度 80 %RH 以下（結露しない こと）で使用してください。

3.1.2 開梱と梱包品の確認

本製品は、段ボールにビニールおよび緩衝材で保護された状態で梱包して出荷します。

製品到着後は段ボールを開けて、製品本体と共に「2.3.2 付属品」に記載されている品物がすべて揃っていることを確認してください。



注記

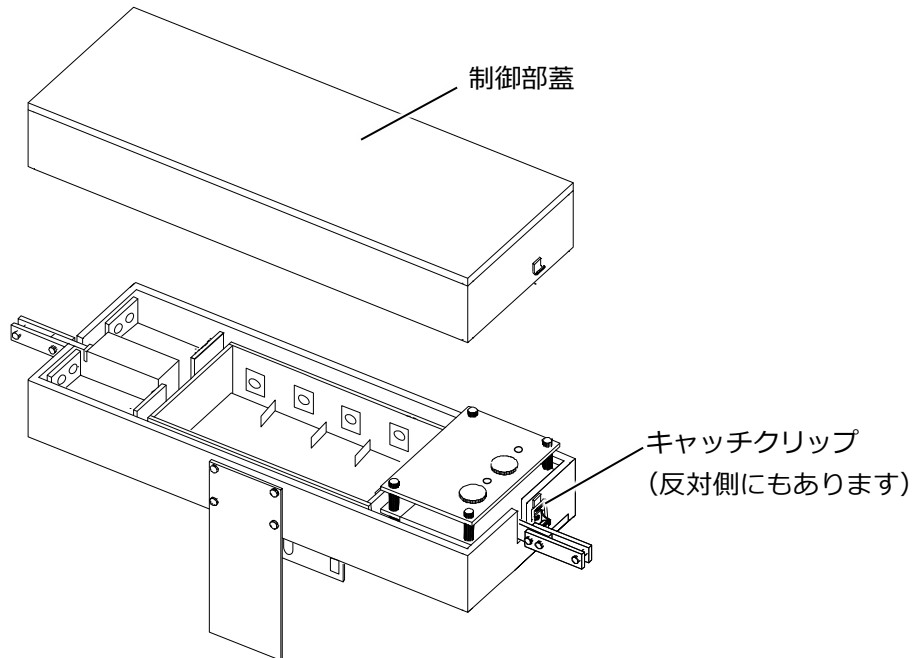


- ・開梱時に本体の破損や付属品の欠品がある場合は、設置や使用をしないで当社までご連絡ください。
- ・開梱後の段ボールや緩衝材は、再輸送のために保管しておくことを推奨しますが、廃棄する場合は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。
- ・修理や移送のため再梱包する場合は、納入時と同等に段ボールの中に緩衝材を入れて、輸送中に破損しないように注意してください。

3.2 電池をセットする

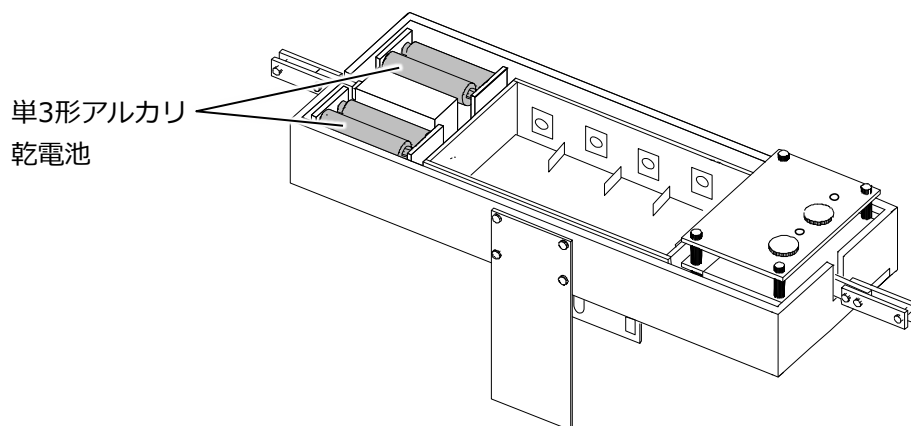
制御部内の電池ボックスに、センサ制御用および侵入口駆動用の電池を入れてください。

1 制御部の側面 2 箇所のキャッチクリップを外して、制御部の蓋を開けます。



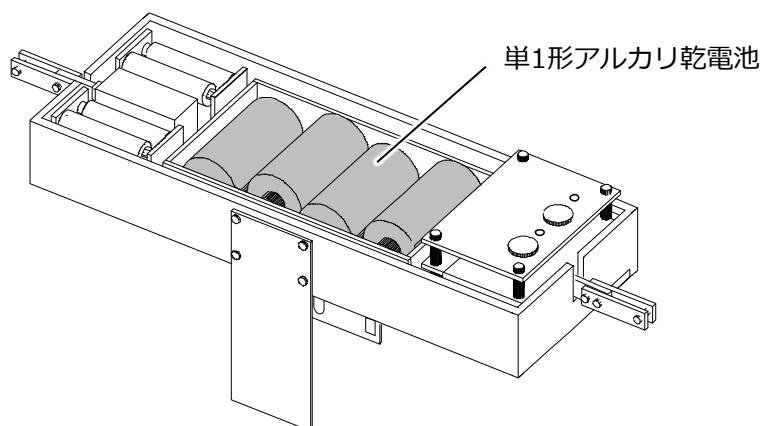
2 侵入口駆動用電池（単3形アルカリ乾電池 8本）をセットします。

注意	 単3形アルカリ乾電池（LR6）以外の電池を使用しないでください。アルカリ乾電池以外の電池は、電圧が違うため適切に動作しない不具合が生じるおそれがあります。
	 電池のプラス（+）、マイナス（-）を間違えないようにセットしてください。電池のプラスマイナスが逆の場合、発熱や故障するおそれがあります。

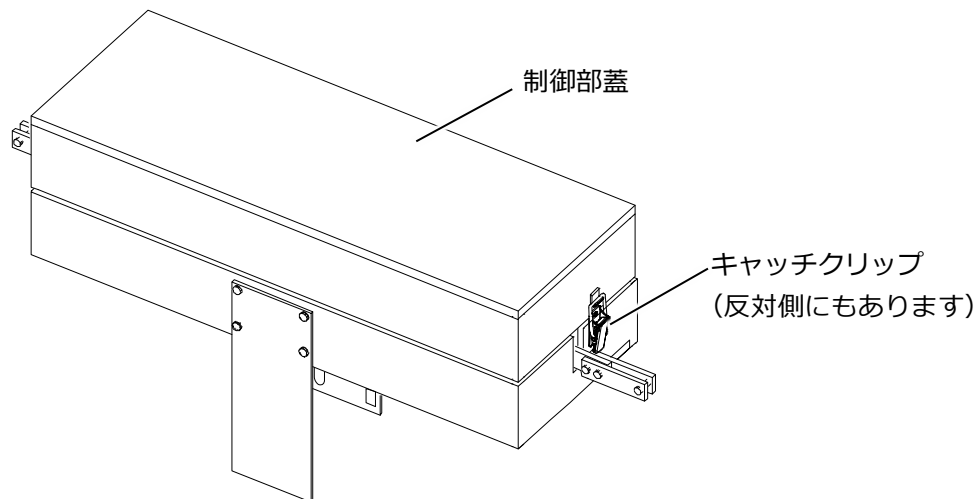


3 センサ制御用の電池（単1形アルカリ乾電池 4本）をセットします。

注意	・ 単 1 形アルカリ乾電池（LR20）以外の電池を使用しないでください。アルカリ乾電池以外の電池は、電圧が異なるため適切に動作しない不具合が生じるおそれがあります。
	・ 電池のプラス（+）、マイナス（-）を間違えないようにセットしてください。電池のプラスマイナスが逆の場合、発熱や故障するおそれがあります。



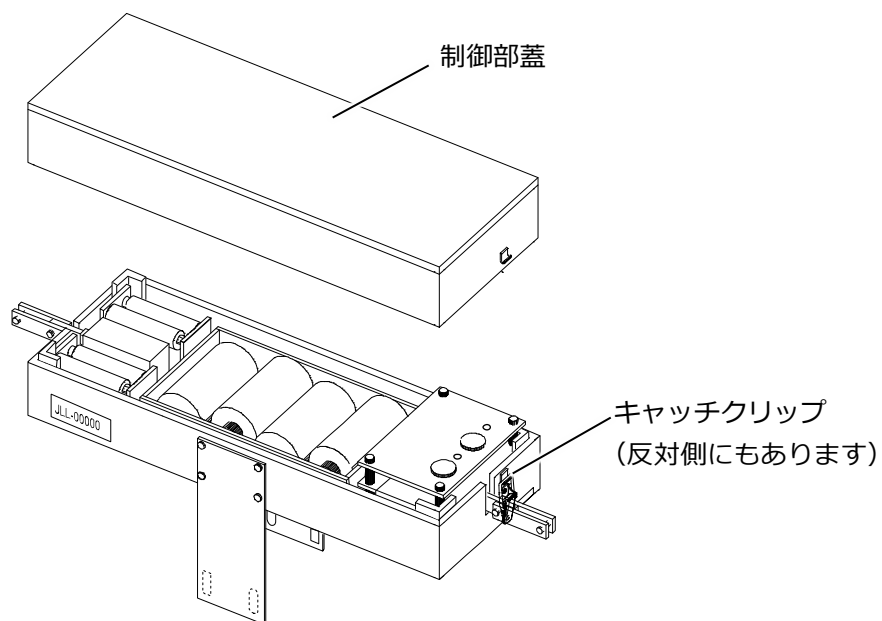
4 制御部の蓋を閉じて、制御部の側面2箇所のキャッチクリップを締めます。



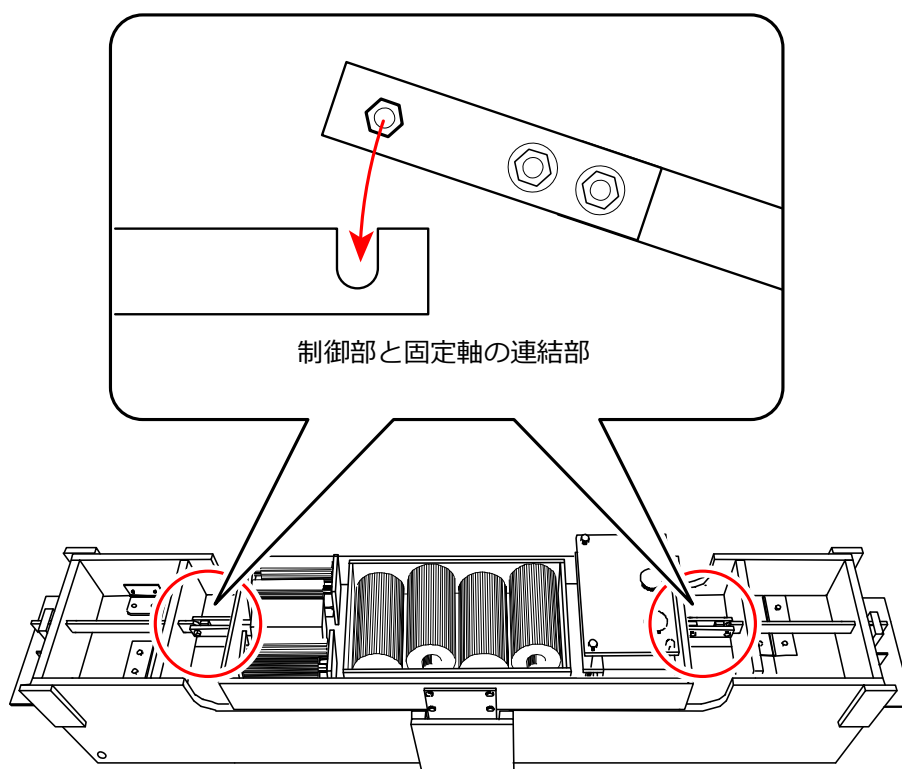
4 使用方法

4.1 使用開始手順

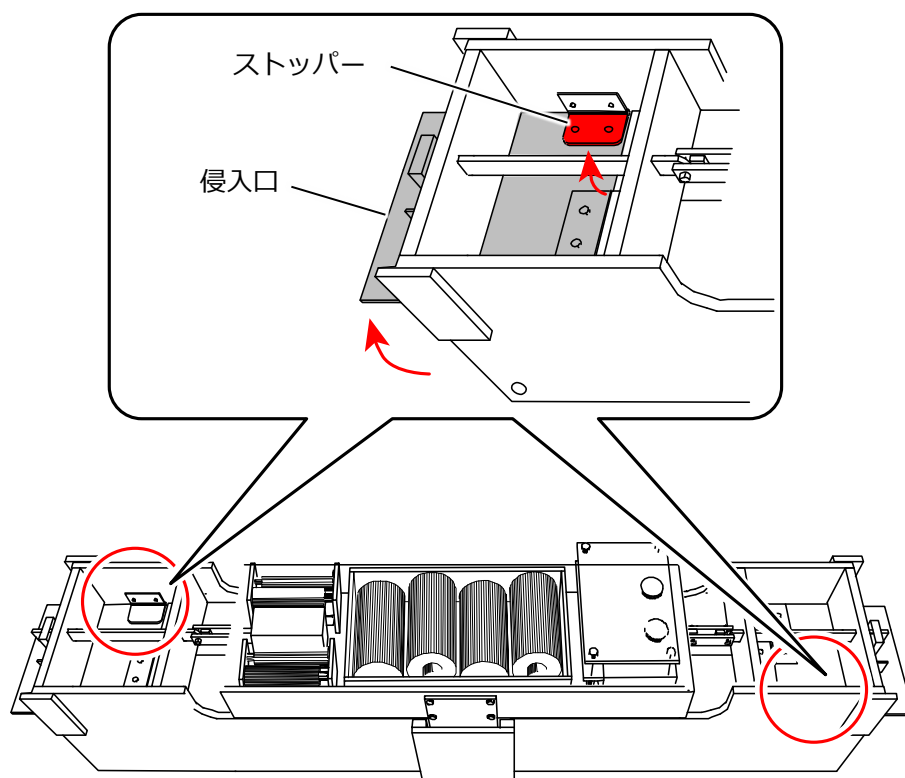
- 1 制御部の側面 2 箇所のキャッチクリップを外して、制御部の蓋を開けます。



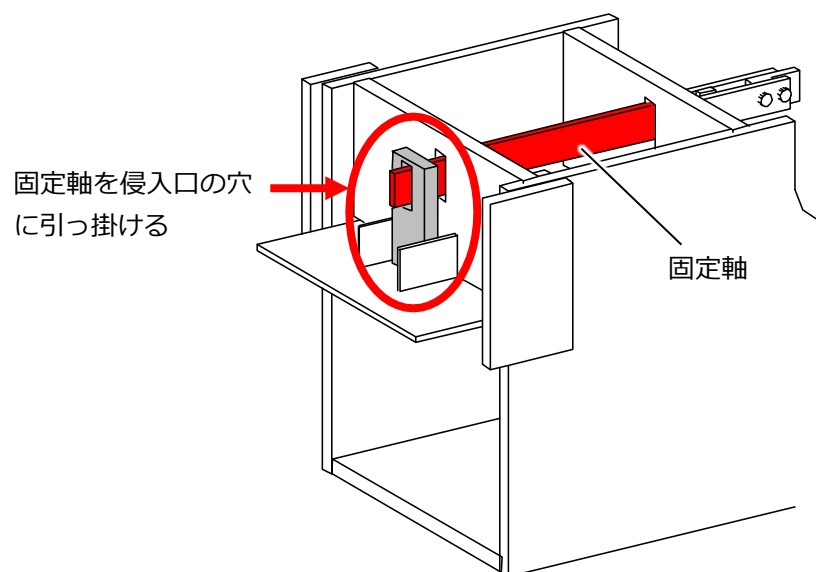
- 2 制御部と捕獲部の固定軸を連結します。



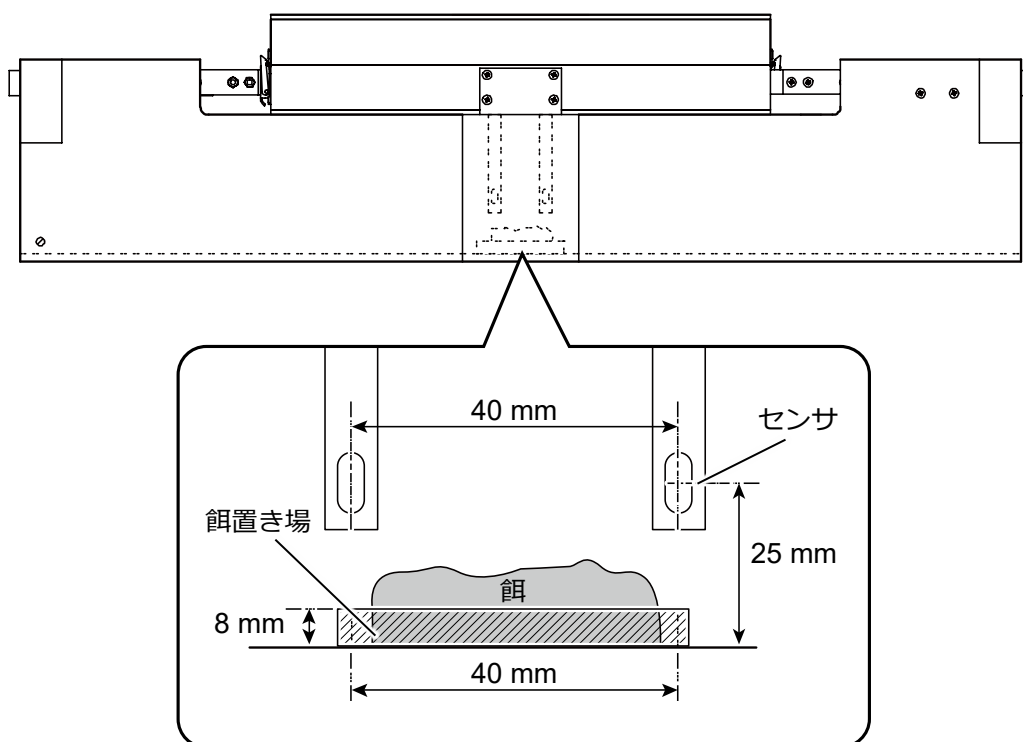
3 ストッパーを手で上げて、侵入口を開きます。



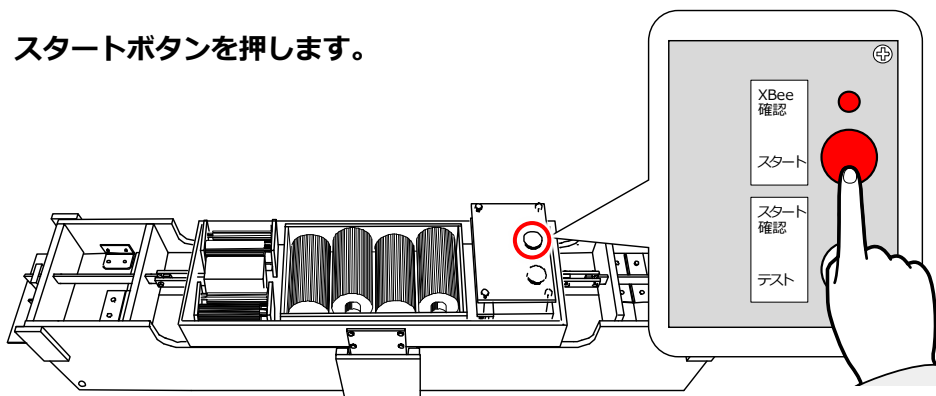
4 侵入口の穴に固定軸を引っ掛けて、侵入口が開いた状態で固定します。 反対側の侵入口も同様に開いて固定します。



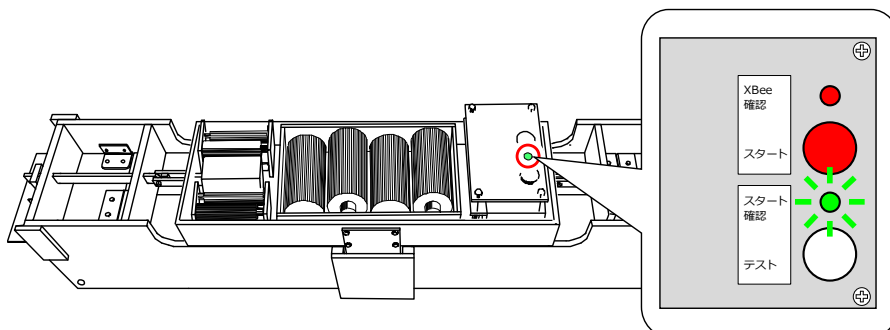
- 5 誘引用の餌を使用する場合は、餌がセンサに検知されないように注意し、餌置き場に餌を置きます。



- 6 スタートボタンを押します。



緑色LED（スタート確認）が5回点滅して、待機状態となります。



参 照 スタートボタンを押して不具合が発生した場合は、「6 こんなときは」のNo.1～3を参照してください。

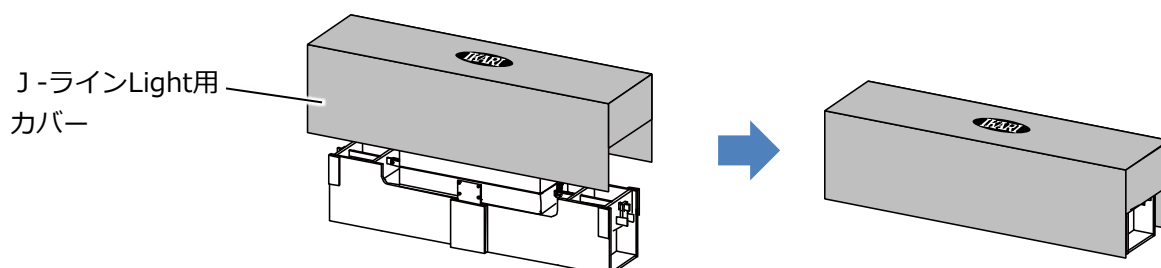
- 7 制御部の蓋を閉じて、制御部の側面2箇所のキャッチクリップを締めます。

4.2 カバーの使用方法

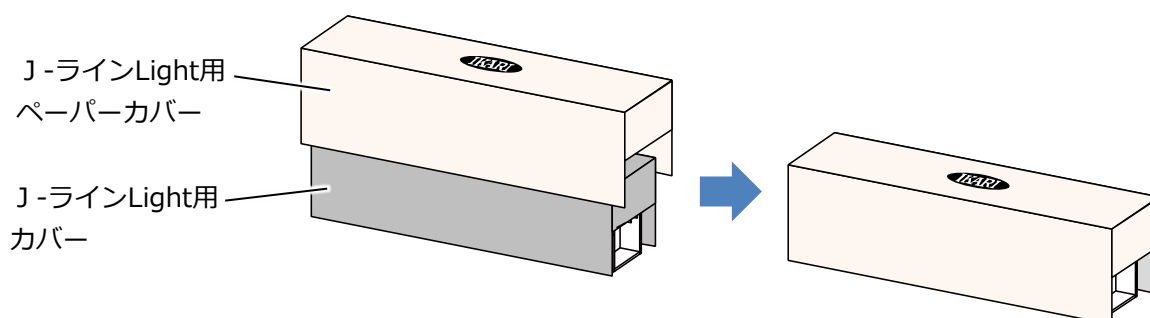
メモ

J-ラインLight用ペーパーカバーを使用すると、装置に対するネズミの警戒心が弱まり、侵入しやすくなります。(当社ラボ試験の結果より)

- 1 「4.1 使用開始手順」を参照し、待機状態にします。
- 2 本体の上からJ-ラインLight用カバーを被せます。

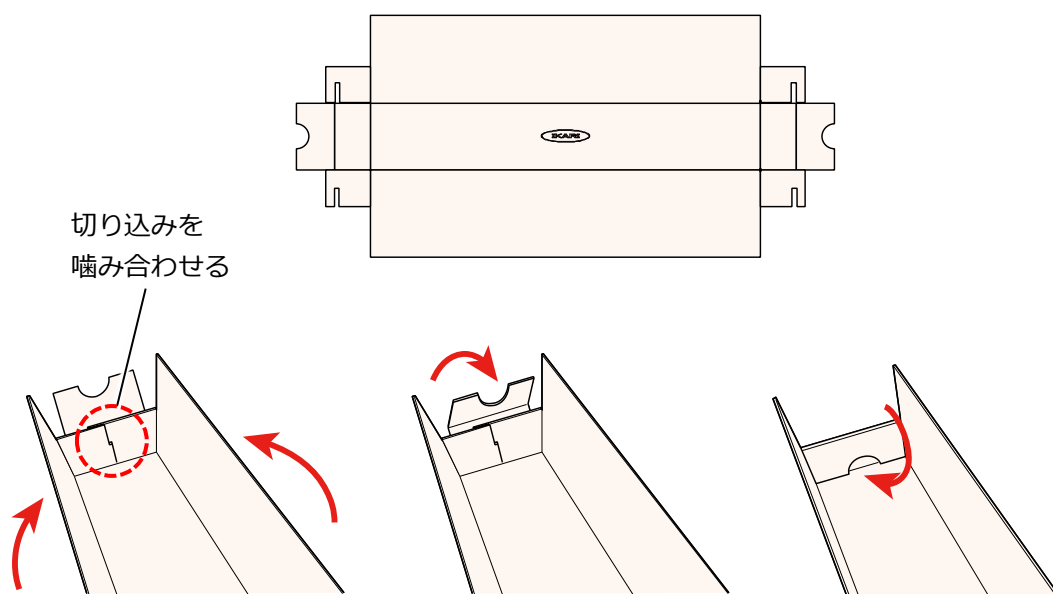


- 3 J-ラインLight用ペーパーカバーを使用する場合は、さらにその上からJ-ラインLight用ペーパーカバーを被せます。



メモ

J-ラインLight用ペーパーカバーは、以下のように組み立ててください。



4.3 動作確認の方法

侵入口駆動が正常に稼働するかを確認するには、以下の2つの方法があります。

- (1) テストボタンを押す方法
- (2) 捕獲部内に手や物を入れて、センサを感知させる方法

装置により適切な方法で、動作確認を行ってください。J-ラインLight CXの場合は、必要に応じてLCD表示部で侵入口が閉じたときの「時間と機器番号」を確認できます。

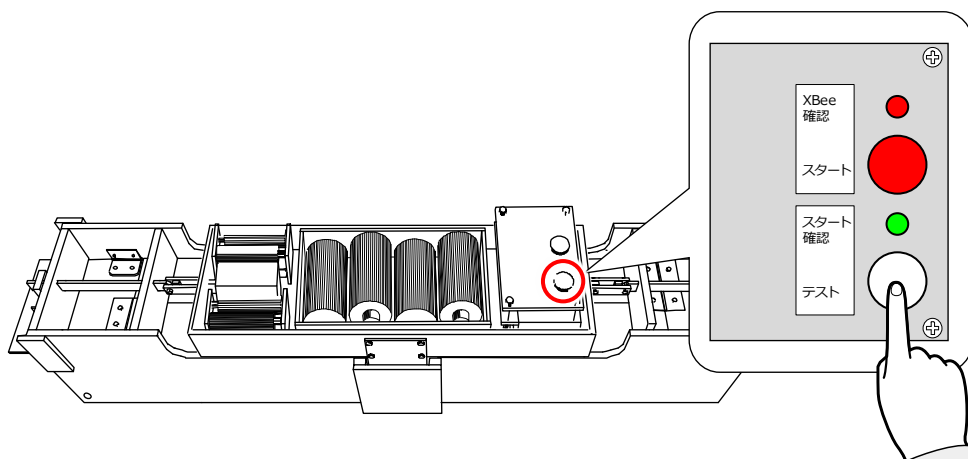
4.3.1 テストボタンによる動作確認

メモ

J-ラインLight CXの動作確認では、スマートリスクナビCXシステム専用のWebサイトに、捕獲カウントとしての記録は残りません。また警報メールも送信されません。ただし、データセンターでのテスト信号の受信時刻は確認できます。

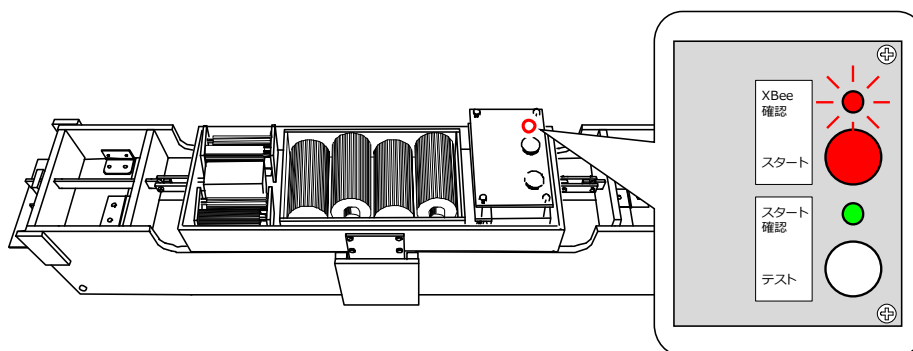
1 制御部の側面 2 箇所のキャッチクリップを外して、制御部の蓋を開けます。

2 テストボタンを押します。



3 強制的に侵入口が閉まり、電源がOFFになります。

J-ラインLight CXの場合、侵入口が閉じる時に、赤色LED (XBee確認) が1回点滅します。



4 制御部の蓋を閉じて、制御部の側面 2 箇所のキャッチクリップを締めます。

4.3.2 センサを感知させる動作確認

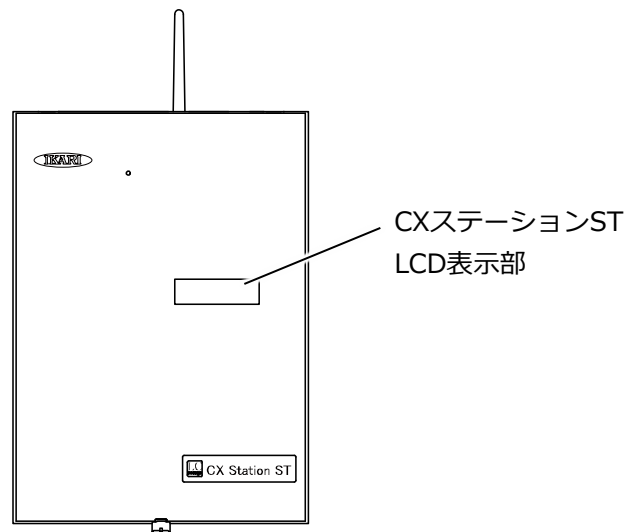
メモ

J-ラインLight CXの動作確認では、スマートリスクナビCXシステム専用のWebサイトに捕獲カウントとして記録が残ります。また警報メールも送信されます。

- 1 捕獲部の侵入口から長い棒などを入れて、センサを感知させます。
- 2 侵入口が閉じると電源がOFFになります。

4.3.3 CXステーションのLCD表示部（J-ラインLight CXの場合）

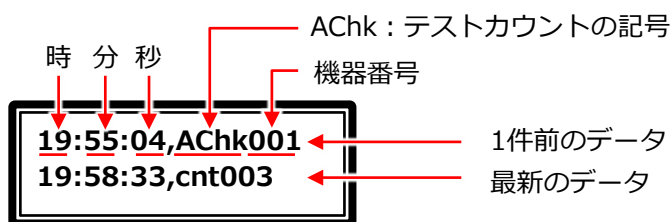
J-ラインLight CXでは、侵入口が閉じたときの「時間と機器番号」がCXステーションのLCD表示部に表示されます。



(1) テストボタンを押した場合の表示

参照

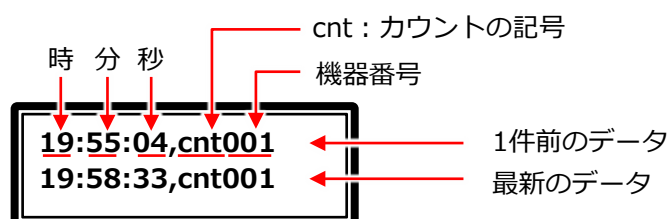
テストボタンによる動作確認の方法は、「4.3.1 テストボタンによる動作確認」を参照してください。



(2) 手や物でセンサを感知させた場合の表示

参照

センサを感知させる動作確認の方法は、「4.3.2 センサを感知させる動作確認」を参照してください。

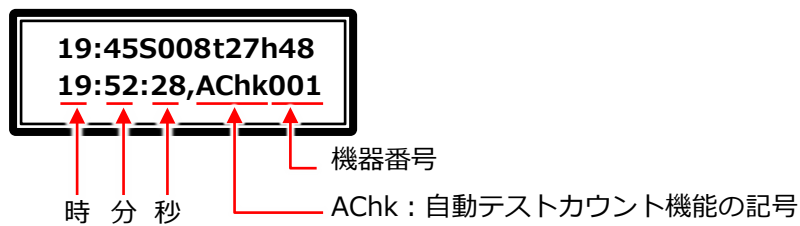


4.4 自動テストカウント機能について（J-ラインLight CX）

J-ラインLight CXには、CXステーションまでの通信状況確認のため、自動テストカウント機能が備わっています。

- 自動テストカウントは、スタートボタンを押してから、約 24 時間ごとに送信されます。
（時刻の日差1～5分により、希に信号の出ない日や1日に2回送信される場合があります）
ただし、ネズミの捕獲カウントが送信されると自動テストカウント機能は停止します。

参 照 詳しくは、CXシステムの各モニタリング機器の取扱説明書を参照してください。



- スマートリスクナビ CX システム専用の Web サイトで、自動テストカウントの受信時刻が確認できます。
- 自動テストカウントで警報メールが送信されることはありません。

メモ

ネズミの捕獲カウントがなく、自動テストカウントの受信時刻も表示されない場合は、J-ラインLight CXとCXステーション間で通信不良が起きている可能性があります。

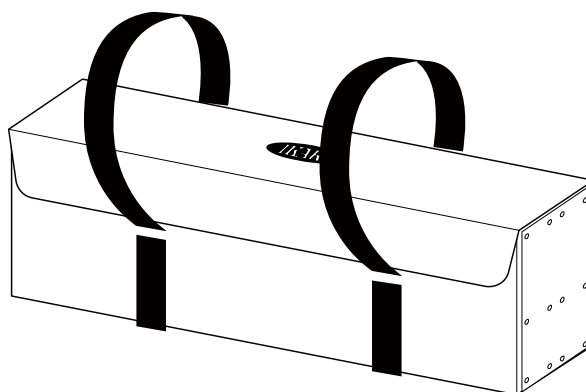
4.5 ネズミ捕獲後の処理

捕獲したネズミの処理は、当社にご連絡ください。

回収には、J-ラインLight用捕獲部回収ケース（オプション）の使用を推奨します。

J-ラインLight用捕獲部回収ケース（オプション）

ネズミが捕獲されている捕獲部を予備捕獲部と交換し、回収品を現場より持ち帰る場合に使用します。

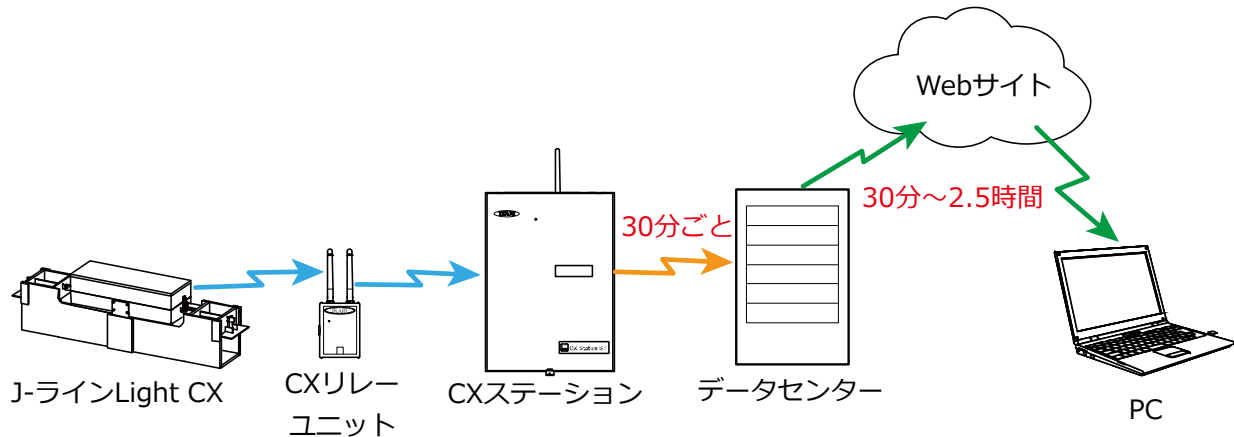


J-ラインLight用捕獲部回収ケース

4.6 データの送信、Webサイトへの表示について

本製品で収集したデータは、CXステーションからデータセンターへ 30分ごとに送信されます。

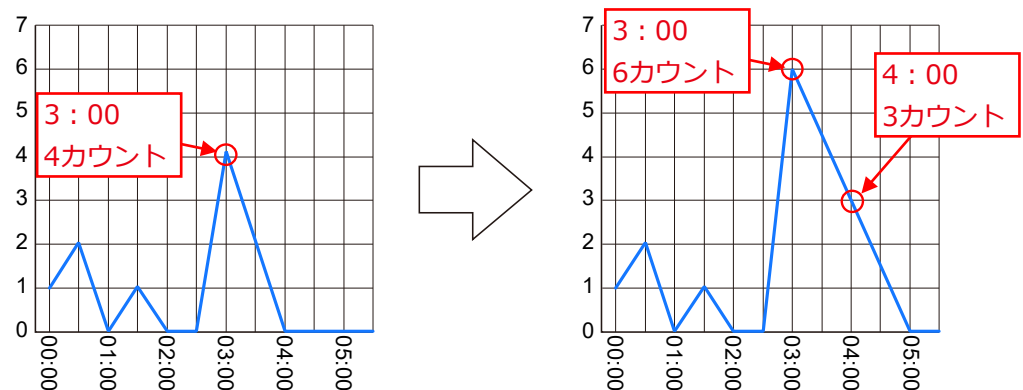
メモ 電波状態などによっては、30分ごとにデータが送信できない場合があります。



データセンターで受信されたデータは、通常 30分～2.5時間程度でWebサイトに表示されます。

- メモ**
- 一時的にデータ量が集中した場合に、データセンターの処理能力が低下して Web サイトへのデータ表示までに時間がかかったり、メール送信が遅れる場合があります。
 - 電波状態やデータセンターのデータ処理のタイミングなどによっては、一度 Web サイトに表示されたデータが、後に更新される（データが増える）ことがあります。

例：Webサイトのグラフ表示で、新しい時刻のデータが表示されたときに、そのひとつ前の時刻のデータが増加する場合があります。



3:00に4カウントと表示されていたが（上図左）、4:00のカウント数が表示されたとき（上図右）に3:00のカウント数が6カウントに更新されたケース

4.7 データ閲覧について

本製品でカウントされたデータは、CXステーションから30分ごとにデータセンターに送信され、スマートリスクナビCXシステム専用のWebサイト (<https://www3.ikari-data.jp/>) でいつでも閲覧できます。

参 照

閲覧方法は、別途「スマートリスクナビCXシステム簡易操作手順」や「スマートリスクナビCXシステム操作マニュアル」を参照してください。

注記



データ欠損について

- 本製品は、LAN 配線が抜けていたり、CXステーション ST LAN に電源が入っていない場合や電波不良などで、データセンターへデータ送信ができない場合に、データを蓄積します。その後、電波状態の改善などによりデータ送信が可能になると蓄積していたデータは送信されます。しかし、本製品は蓄積できるデータ量に限界があるため、これを超えると蓄積しているデータを古いものから消去し、データ欠損が起きます。

データ欠損を起こさないために

- Web サイトにデータが表示されていない場合は、早めに現場の通信状況を確認し、以下の対応をお願いします。
- LAN 配線の抜けがないか確認し、確実に LAN が接続された状態で使用してください。
- CXステーション ST LAN の電源は、常時抜かないで使用してください。
- CXステーション ST LAN の通信アンテナの位置変更や、本体の移設などで、電波状態が安定するように調節してください。

なお上記の原因以外で、Webサイトにデータが表示されていない場合もあります。以下の項目もご確認ください。この場合は、本製品がデータを収集していないためデータ欠損しますのでご注意ください。

- 本製品の電源が入っていない。
- CX リレーユニットの電源が入っていない。

4 使用方法

以下は、Webサイト（スマートリスクナビ CXシステム） 主要画面の参考イメージです。

ログイン画面



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying `https://www3.ikari-data.jp/ibi_apps/signin`. The page title is "IKARI スマートリスクナビ CX システム". Below the title bar, there is a large, light gray rectangular button labeled "ログイン". In the center of the page, the text "CXシステム ログイン" is displayed above two input fields: "ユーザID:" and "パスワード:". Below these fields is a blue "ログイン" button. At the bottom of the page, there is a link: "お知らせページ | パスワード変更はこちら".

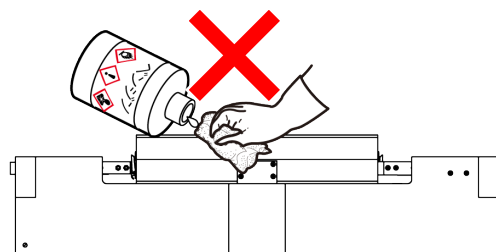
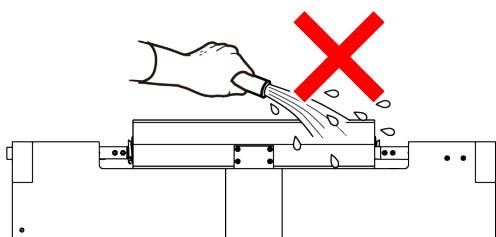
5 点検・保守

5.1 本体の清掃

点検・保守の周期：捕獲時または1か月ごと

清掃方法

 警告	 ・制御部に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。 ・樹脂部には、水・洗剤・薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因となります。
注記	 ・本体表面をガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・変形の原因となります。



製品の汚れは乾いた布、またはぬるま湯・中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞って拭いてください。最後は乾燥した布で水分をふき取ってください。

5.2 電池の交換

- ・ センサ制御用電池の寿命は、標準的な使用環境で約 6 か月です。
- ・ 侵入口駆動用電池の寿命は、標準的な使用環境で約 2 年です。

それぞれ、電池の寿命時期を迎えた場合は、古い電池を取り出して新しい電池と交換してください。

参 照 電池のセット方法は「3.4 電池をセットする」を参照してください。

注記



・ 古い電池は各自治体で定められている廃棄方法に従って処理してください。

交換時期を忘れないように、下表に交換年月日と交換予定日を記録することをお勧めします。

<センサ制御用電池交換記録>

交換年月日	次回交換予定	担当者
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	

<侵入口駆動用電池交換記録>

交換年月日	次回交換予定	担当者
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	

6 こんなときは

本製品を運用中に下表に記載の現象が発生した場合は、原因と対策を参照の上、適切に対処してください。

下表に記載の対処を行っても解決しない場合や、下表に記載のない不具合が発生した場合は、運用を停止し、当社にご連絡ください。

注記	 輸送時の取り扱いの不備が考えられる場合（開梱時に梱包箱の外傷や本体の変形が見られた場合など）は、製品到着後1週間以内に輸送業者に連絡を取り、輸送状況を確認してください。輸送業者に瑕疵がない場合は、当社までご連絡ください。
-----------	---

No.	現象	原因	対策
1	スタートボタンを押した後、すぐに侵入口が閉じてしまう	餌が高すぎたり、枠からはみ出したりしていて、センサが感知している	餌は、枠内に高さ20 mm以下のものを置いてください。
		センサが汚れている	定期的になめらかい布などで清拭してください。
2	スタートボタンを押しても、緑色LED（スタート確認）が5回点滅しない	センサ制御用の電池が正しくセットされていない	センサ制御用電池のプラス、マイナス（極性位置）が合っているか、または電池が外れていないか、などを確認してください。
		センサ制御用の電池が切れている	新しいセンサ制御用電池と交換してください。
3	スタートボタンを押しても、緑色LED（スタート確認）が5回点滅しても、侵入口が閉まらない	侵入口駆動用の電池が正しくセットされていない	侵入口駆動用電池のプラス、マイナス（極性位置）が合っているか、または電池が外れていないか、などを確認してください。
		侵入口駆動用の電池が切れている	新しい侵入口駆動用電池と交換してください。
4	異音、異臭がする	電装部品の不具合	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。
5	Webページが表示されない（J-ラインLight CXのみ）	URLが間違っている	下記URLを正しく入力してください。 https://www3.ikari-data.jp/
		定期または臨時のサーバメンテナンス中	定期または臨時のサーバメンテナンスを行っている可能性があります。サーバメンテナンス中であるか不明な場合は、当社にご連絡ください。

7 製品の保管および廃棄

7.1 長期間使用しない場合の保管について

本製品を長期間使用しない場合は、以下の事項を守ってください。

- 以下の場所に保管してください。
 - 直射日光が当たらない場所
 - 強い磁界が発生しない場所
 - 漏水の危険がない場所
 - 振動が発生しない場所
 - 平らな場所
 - 近くに火気がなく、熱気のももらない場所
 - 火煙・ちり・ほこりの少ない場所
- 電池を抜いてください。

長期保管後に再使用する場合は、以下の点検を行ってください。

- ほこりの堆積やかびの発生などがないか確認してください。

7.2 製品の廃棄について

製品本体、構成部品、消耗品の廃棄処分は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。

環境保全のため、不法投棄は絶対にしないでください。

8 オプション品リスト

オプション品をご用命の際は、下表の商品コードおよび商品名をご確認の上、当社までご連絡ください。

8.1 消耗品

商品コード	商品名	仕様	備考
18971	J-ラインLight用ペーパーカバー	素材：段ボール紙	
18951	J-ラインLight用カバー	素材：塩ビ樹脂	
18952	J-ラインLight用捕獲部	素材：塩ビ樹脂	

8.2 オプション品

商品コード	商品名	仕様	備考
19048	J-ラインLight用捕獲部回収ケース	素材：ポリプロピレン樹脂	材質：プラスチック段ボール 色：グレー 寸法：幅 670 mm 高さ 162 mm 奥行 137 mm

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は消耗品を除き、お買い上げの日より1ヶ年間です。
保証は日本国内においてのみ有効です。

修理について

保証期間内に、取扱説明書・本体ラベルなどの注意に従った正常な使用状態で、故障が発生した場合には、無料修理させていただきます。

保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

- 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷
- 消耗部品
- 故障の原因が本製品以外に起因する場合
- その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷

補修用部品の保有期間

当社ではこの商品の補修用電気部品を製造打ち切り後6年間保有しています。補修用電気部品には同機能を有する代替部品を含めます。

アフターサービスについてご不明な点は、当社にお問い合わせください。

保証書

この保証書は、本品をお買い上げの日から1年の間に初期不良で故障が発生した場合に無料修理を行うことをお約束するものです。

品名：J-ライン Light CX / J-ライン Light

保証期間：お買い上げ日から1年間

◆お客様ご住所

お客様	お名前
	ご住所
	電話番号 () —

◆販売店記入欄

お買い上げ日:	年	月	日
<販売店(お問い合わせ先)> 店名・住所			
電話番号 () —			

※上欄に記入および捺印がない場合は、レシートや領収書など（保証書内に）購入を証明する書類を貼り付けてください。

※ご記入いただきました個人情報、保証期間内における無料修理の対応および事後の安全点検などにご利用させていただく事がございますのでご了承ください。

改訂履歴

バージョン	改訂日	改訂内容
Ver.1.0	20**年**月**日	第1版

2019年**月**日 第1版 発行

製造販売元
本社

イカリ消毒株式会社
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-11
アグリスクエア新宿11階
TEL. 03-3356-6191（代表）
FAX. 03-3350-1405
<http://www.ikari.co.jp>